

## 平成 29 年度花巻市石鳥谷地域協議会第 3 回会議 会議録

【日 時】 平成 30 年 2 月 1 日（木）午後 4 時 00 分～午後 5 時 22 分

【場 所】 石鳥谷総合支所 3 階 大会議室

【出席者】 出席委員：11 名

似内英悦委員、晴山美紀子委員、晴山淳子委員、岩館 仁委員、  
熊谷秀夫委員、八重樫康治委員、藤澤信悦委員、佐藤芳彰委員、  
高橋公男委員、鎌田愛子委員、板垣武美委員

欠席委員：4 名

伊藤浩司委員、横田竜太委員、伊藤昌明委員、田中由一委員

市側出席者：14 名

総合政策部 久保田部長

総合政策部秘書政策課

伊藤課長、高橋課長補佐（企画調整担当）、赤坂企画調整係長  
石鳥谷総合支所

菅原総合支所長、藤原地域振興課長、中村市民サービス課長、八重樫地域  
支援監、畠山地域振興課長補佐、阿部同課長補佐、藤井同課長補佐、小原  
市民サービス課長補佐、晴山地域づくり係長、伊藤主査

### 【諮 問】

大瀬川辺地における辺地総合整備計画について

花巻市長の代理として、久保田総合政策部長から似内会長へ諮問書が手渡された。

### 【説 明】

大瀬川辺地における辺地総合整備計画について

辺地総合整備計画の概要及び大瀬川辺地に係る計画書案についての説明後、質疑応答  
を行い、計画策定の目的や事業内容に係る質問などが出された。

### 【審 議】

大瀬川辺地における辺地総合整備計画について

審議の結果、原案のとおり賛成する旨答申することとし、答申文については会長に一  
任することとした。

### 【報 告】

平成 29 年度石鳥谷のゆめ・みらいを語るワークショップについて

ワークショップの開催結果の周知や、ワークショップで出た意見に対する行政やコミ  
ュニティでの対応などについての質問意見が出された。また、石鳥谷に対する高校生  
の貴重な意見を大切に扱うべきであるという意見が出された。

### 【その他】

なし

### 【傍 聴】

会議を傍聴した者 なし

※ 会議での発言等は別紙顛末のとおり

※ 会議における配布資料は以下のとおり

資料

- (1) 辺地総合整備計画の概要及び大瀬川辺地における辺地総合整備計画書(案)
- (2) 平成 29 年度高校生による石鳥谷のゆめ・みらいを語るワークショップについて

## 1 開 会

### 藤原地域振興課長

本日はお忙しいところ、花巻市石鳥谷地域協議会にご出席いただきましてありがとうございます。本日の会議には、伊藤浩司委員、横田竜太委員、伊藤昌明委員及び田中由一委員から出席できない旨の連絡がございましたのでお知らせいたします。

それでは、ただいまから平成 29 年度花巻市石鳥谷地域協議会第 3 回会議を開会いたします。開会にあたりまして、似内会長からご挨拶をいただきます。

## 2 会長挨拶

### 似内会長

足元の悪い中ご出席いただきましてありがとうございます。インフルエンザもだいぶ流行っているようでございます。どうか健康には十分ご留意くださるようお願いいたします。それから、当協議会の委員の任期が 4 月末までとなっております。会長を務めさせていただきましたが、皆様のご協力により会議がスムーズに進められたことに感謝を申し上げます。今日の会議は、事前に皆様に資料をお配りしていると思いますので、スムーズに進めてまいりたいと思いますのでよろしく願いいたします。

(藤原地域振興課長より資料の確認)

## 3 諮 問

### 藤原地域振興課長

ここで、大瀬川辺地における辺地総合整備計画について、花巻市市長代理として久保田総合政策部長から石鳥谷地域協議会似内会長に諮問を行います。よろしく願いします。

(上田市長に代わり、久保田総合政策部長が諮問書を読み上げ似内会長へ手渡す)

## 藤原地域振興課長

ここからは、花巻市地域自治区設置条例第9条第3項の規定によりまして、進行を似内会長にお願いします。

## 似内会長

それでは、ただいま花巻市長から諮問をいただきました辺地総合整備計画について、資料は事前にお渡ししておりますのでお目通しいただいていると思いますが、ご説明をお願いします。

## 4 説 明

### 資料に基づき説明（説明者：伊藤秘書政策課長）

#### 伊藤秘書政策課長

説明は以上で終わりますが、本計画案につきましてご審議いただきまして、策定すべきとの答申をいただきましたならば、本年3月開会予定の平成30年第1回花巻市議会定例会に本計画を上程する予定としております。

#### 似内会長

ご説明いただきましたが、ご質問等ございますか。

#### 板垣委員

何点かお聞きします。最初は総括的なことについてですが、辺地要件について二つご説明ありましたが、これはどちらか一方に該当すれば辺地となるのか、それとも二つの要件両方に該当しなければならないのかお伺いします。

それから、市内の辺地区域について説明がございましたが、鉛辺地に関しては当初の事業費より5倍以上の変更が今回行われるようですが、大瀬川についても場合によっては当初計画から増額変更することもあり得るのかお伺いします。

#### 伊藤秘書政策課長

お答えいたします。まず辺地の要件についてですが、説明資料の1（1）と（2）の二つとも満たすことが必要です。二点目の鉛辺地の計画案についてですが、昨年度に策定した当初計画では、消防施設の整備を計画しておりました。今回、花巻市自治推進委員会に意見を求めておりますが、鉛スキー場のスキーセンター及びリフトの補修とコースを整備する圧雪車の購入を必要とするため、計画を変更しようとするものでございます。

## 板垣委員

大瀬川辺地の整備計画について、当初の事業費が 52,596 千円ということで、消防施設の整備が図られると理解しておりますが、資料 3 の計画図を見ると、大瀬川辺地の区域の中に青い点が 4 つあり、それぞれ事業名も入っておりますが、事業費の内訳を教えてくださいと思います。

## 伊藤秘書政策課長

ご質問について説明いたします。大瀬川辺地は消防施設整備ということで、52,596 千円計上しております。計画図の中に事業名が記された青い点が 4 カ所あるというご指摘がありました。整備の内容について説明いたします。一つ目は消防屯所の改築で、第 13 分団第 2 部の屯所を改築しようとするものです。二つ目は第 13 分団第 1 部の消防ポンプ自動車の更新です。ほかの二点は消火栓の設置で、場所は県道盛岡石鳥谷線沿いの大瀬川第 20 地割に 1 ヶ所と、大瀬川第 3 地割に 1 ヶ所設置するもので、合計 4 つの事業です。事業費の内訳は、屯所の改築が 29,338 千円、ポンプ自動車の更新は 20,058 千円、消火栓設置は 1 ヶ所あたり 1,600 千円の 2 ヶ所で 3,200 千円、合わせて 52,596 千円となります。以上でございます。

## 板垣委員

今ご説明いただきましたが、消防施設と書いてありますがポンプ自動車等を含むということが分かりました。計画期間が平成 30 年から平成 34 年までの 5 年間ですが、今ご説明のあった 4 つの事業の着手や完成年度の計画について伺います。

## 伊藤秘書政策課長

現在、平成 30 年度の当初予算において、屯所の整備と消防ポンプ自動車の要求をしている状況です。なお、消火栓については平成 31 年、平成 32 年に 1 基ずつ整備する計画であるということを消防本部から伺っております。

## 似内会長

その他にご質問ございますか。

## 藤澤委員

地元の要望はとっているのですか。というのは、鉛辺地の事業を見ると、当初は消防設備整備事業のみであったようですが、我々にしてみれば鉛といえば鉛温泉スキー場を思い浮かぶのですが、当初の計画にスキー場の施設整備が入らずに後から追加となっているので不思議に思いました。大瀬川地区に関しても、消防設備の整備のみではなく、例えば私のイメージですが、大瀬川の自然を利用して山林パークを整備するとか、地元の人が考える夢があるのではないかと思いますので、地元の要望が生かされているのかどうか伺いたしたいと思います。

### 伊藤秘書政策課長

鉛温泉スキー場につきましては、市が所有し運営しております。第1リフトは昭和59年、第2リフトは昭和62年に建設しており、かなり老朽化しております。時々リフトが止まったりすることもございます。そういう意味で現在の機能を維持していくということで、この辺地総合整備計画に搭載し補修を行おうというものでございます。大瀬川地区の皆さんからスポーツやレクリエーション施設に関する要望があるかということについては、今、石鳥谷総合支所の地域振興課に確認しましたが、特に承っていないということです。

### 似内会長

行政側の考え方もある程度入れて計画を作った方が、辺地債を活用して有効に施設を整備することができるということですね。

### 久保田総合政策部長

そのとおりでございます。

### 岩館委員

藤澤委員さんのご質問に関連しますが、市の総合計画か何かで、スキー場の整備などは計画しているものだと思いますが、今回のように当初計画を変更してスキー場整備を入れてくるというのは検討が不足していたのではないかと思いますし、大瀬川についても、地元の要望を吸い上げるような協議をどのようにしてきたのかお聞かせ願いたい。

それから、今回の資料を見ますと、あまりにも簡単すぎるのではないかと思います。先ほど、板垣委員さんの質問に対して、口頭で事業の内容や事業費の内訳の説明がありましたけれども、3月議会に提出する段階まで進めてきている計画なのであれば、内訳などは決まっています年度ごとの事業内容も示すことができると思います。本当ならばこの協議会にも口頭ではなく資料として出すべきではないかという感じがします。それから説明資料1の6の辺地対策事業一覧についても、事業実施予定年度の欄には事業開始年度のみ記載されていて、例えば鉛辺地についても156,507千円の事業が平成30年度だけで終わってしまうのかという受け止め方になるので、資料の整理の仕方をもう少し注意していただければと感じました。

### 久保田総合政策部長

貴重なご意見ありがとうございます。おっしゃるとおり、鉛温泉スキー場については維持管理の部分を中心にこれまで計画しておりまして、機能を維持していくという想定でございましたが、具体的に平成30年度からメンテナンスをするにあたりまして、想定外に経費が掛かるということが分かり、既に鉛については辺地総合整備計画を立てていたのですが、急きょ維持管理部分を、先ほど似内会長さんがおっしゃったとおり、辺地債を活用できれば財源として非常に有効ですので、今回当初計画を変更しようとするものであります。それから、資料の事業実施年度の掲載についてのご指摘ですが、全くそのとおりだと思います。大瀬川

の消防施設整備についても年度ごとの事業計画案がありますので、事前に委員の皆様配布するよう今後気を付けてまいりたいと思います。

#### **菅原総合支所長**

市内の各消防施設については屯所等建築年度が古いもの、老朽化が進んでいるものがあるということで、その状況を見ながら計画的に整備を進めていく中で、今回、大瀬川地区の消防施設を辺地総合整備計画の中で整備するという計画を立てたところでございます。

#### **似内会長**

岩館委員さん、よろしいでしょうか。

#### **岩館委員**

どういう協議をしてきたのかということをお聞きしたいです。消防施設だけに絞って計画を立てたのか、それとも地元全体にどういうものをやりたいのか、どうしたいのかという投げかけをした上で消防施設の整備に決めたのでしょうか。

#### **菅原総合支所長**

具体的な辺地総合整備計画に伴っての投げかけはしておりませんが、通常業務の中で皆様からいろいろな要望がございますけれども、今回は消防施設の整備という計画を作ったところでございます。

#### **似内会長**

要するに、消防屯所の改築や消火栓の設置というのは以前から要望は出ていて、それがいつできるか分からなかったが、辺地債という財源が活用できることになり、市の財政的にも有利で早い時期に事業が実施できるということで今回計画した。しかも計画を作るにあたっては該当する地域の地域協議会などの組織に意見を聴かなければならないという決まりがあるということですね。

#### **久保田総合政策部長**

はい。今、似内会長さんがおっしゃったとおりでございます。基本的に花巻市まちづくり総合計画で5カ年の計画を立ていろいろな事業を想定しております。地域の方々からの要望を踏まえたうえで財政計画を立てながら、実施可能な事業かどうかの判断をしながら進めている中で、今までは大瀬川の消防施設について辺地総合整備計画には取り入れてなかったのですが、平成30年度以降の予算を見た上で実施が可能であろうという判断をもとに、辺地債という有利な財源を活用しながら進めていきたいというのが趣旨でございます。これにつきましてはどの地域も同様に考えてございまして、来年度以降は財源として活用できる見通しが立ちましたならば、同じように辺地総合整備計画の中で新規に策定もしくは変更をして事業を実施していきたいと考えているところでございます。

## 岩館委員

了解しました。もう一つ、説明資料1の4の下段に横志田辺地について、直近の医療機関の閉鎖により辺地度点数が下がったとありますが、医療機関が無くなれば直近の医療機関が遠くなってしまい、逆に辺地度点数が上がるのではないかと思うのですが、これはどういう理由なのでしょう。

## 伊藤秘書政策課長

ご説明いたします。横志田地区から一番近い医療機関を調べるのですが、昨年度計画を策定したときは和賀診療所があり、横志田辺地の中心から6キロほどの距離にありました。和賀診療所まではバス路線が通っていないため移動手段は徒歩となり、6キロという距離を徒歩の定数0.17で割って辺地度点数を出していました。和賀診療所が無くなり、次に近い医療機関は太田地区にありますが、そこまでは横志田からバスが通っているので、距離は約9キロありますが、バス区間は0.33で割るため、結果として距離は遠くなりましたが、辺地度点数としては下がったということになります。

## 似内会長

他にご質問ございますか。

## 熊谷委員

第13分団第1部はポンプ車を更新するわけですが、ポンプ車は車高が高くなってきておりますので、もし不備があつて屯所の車庫に収まらないということがあつた場合は計画を変更して屯所の整備も追加することになるのでしょうか。

## 伊藤秘書政策課長

消防本部では更新するポンプ車の規格や屯所の規格は当然分かっていると思います。今回の計画に屯所の整備が含まれていないということは、更新するポンプ車が十分収まるものと認識していると思いますが、確認はいたします。

なお、先ほどの地域の方に聞いたのかというご質問がございましたが、消防団施設の整備につきましては、ある程度の年数を経過したものは順次更新していくという内規があるようです。消防屯所は昭和56年以前の建物は今の耐震基準に基づいておりませんので、だいたい築40年経過しているものは更新していきたいということで、先ほどの第13分団第2部は昭和52年建築で41年経過しておりますので、今回消防本部で更新を計画しております。一方、車両のほうは20年くらい経過しているものを更新するという目途をつけておりました。第13分団第1部については平成8年購入で22年ほど経過するというので消防本部にて更新の計画を立てたということでございます。

## 似内会長

熊谷委員さんよろしいでしょうか。



その他質問ございますか。

### 八重樫委員

事業一覧を見ますと、八日市が平成 31 年度に消防施設整備を行う予定となっております。八日市地区では生活道路関係の課題がございまして、例えば南成島などは生活道路整備事業が挙げられておりますが、辺地債を活用した施設整備というのはどのような内容なのか教えていただきたいと思っております。

### 伊藤秘書政策課長

今のご質問は辺地債でどんな事業ができるかというご質問でよろしいでしょうか。辺地に関する法律の中で、公共的施設を整備する計画であるというふうに定められております。どんなものが挙げられているのかといいますと、電気の供給施設とか道路、小・中学校の通学のための自動車、診療施設、飲用水の供給施設、電気通信に関する施設、農林道などいろいろ書いております。下水処理の施設などもございますし、保育所などもございます。また、鉛地区に載っておりますような観光またはレクリエーション施設もございます。

### 八重樫委員

診療施設の中には例えば介護関係の施設などは入っているのでしょうか。

### 伊藤秘書政策課長

高齢者の保健、福祉の向上または増進を図る施設という記述がございます。

### 八重樫委員

松林寺地区に健考館とか老健施設がありますが、そちらの方から道路に関しての要望が地元に対してあります。八日市地区の実施予定が平成 31 年度とありますが、もし地元の意見を聞いていただける機会がありましたならばお伝えしたいと思っております。以上です。

### 似内会長

辺地債を使って行う事業について要望というのはできるのですか。

### 久保田総合政策部長

基本的に財源として見込みたいところはあるのですが、あくまでも国や県との協議がありますし、起債になりますと当然枠の中に収まらなければならないので、今回も計画についてご審議いただいておりますが、このとおり起債が可能かどうかは確約できないということになります。ただ、市といたしましては、事業実施する上でその財源として辺地債を使いたいという、あくまで財政上の計画なので、要望を伺ったとしても辺地債を使えるかどうかは現時点ではお答えできないという立場にございます。いずれ総合計画に掲げている中で公共施設あるいは生活道路など様々な整備計画を来年度以降どのように予算を組んでいくか、その財源として辺地債を活用していきたいという考えであるということをご理解いただきたいと

思いますので、地元の方々から、この事業を辺地債でやってほしいと言われても、それが可能だとは言にくい制度であるということをご理解いただきたいと思います。

#### **似内会長**

辺地債を使って介護施設を作りたいとか、道路を整備してほしいとかという仕組みではないということであります。ただ、辺地債ということではなく、道路整備であったり用水路を改修してほしいというような要望を市に対してすることは可能だということです。その要望を事業として実施する際に、市は辺地債を使うのか、起債や一般財源にするか、どの財源を充てるかということです。要望することは可能ですが、辺地債に関しての要望はできないということです。

#### **板垣委員**

今の件に関してですが、要望することは可能だということですが、そういう機会がなかったような気がします。説明にありましたが、財政上の計画だということを強調されておりまして行政のテクニカルな部分だと思ってなかなか私には理解できないのですけれども、この地域協議会に諮問を出すということは、ある意味重要な計画なのだと思っています。そういう意味で市民参画手続き、例えば市民説明会だとかそういうものもあり得るのかと思いますが、私は説明会をやったことは聞いておりませんが、市民参画手続き的にはどういう進め方をしているのでしょうか。

#### **伊藤秘書政策課長**

市民参画に関しましては、財政上の計画でございますので、市民参画を行う部分ではないと考えております。なお、こちらの地域協議会にお諮りしているのは諮問すべき地域計画であるからでございます。

#### **板垣委員**

重要であるから諮問するのではないですか。

#### **伊藤秘書政策課長**

重要である、重要ではないということではありません。

#### **板垣委員**

そこをわかりやすく説明してください。

#### **伊藤秘書政策課長**

例えば、今回この辺地総合整備計画を策定しないで平成30年度の予算の中で消防の屯所などを議会の議決を得たうえで実施するということもあると思いますが、財源として辺地債の活用を見込みたいということで、この辺地総合整備計画については地域協議会に諮問させていただく内容ですので、今回諮問させていただいているということでございます。

## 板垣委員

その中で地域の要望は述べてもいいのですか。

## 伊藤秘書政策課長

要望をお話いただくのは構いません。常に支所の方でもいろいろなニーズについてはお聞きしていると思いますし、道路についてもいろいろな路線の要望を受けております。その中で優先順位を付けて何をやるかというのは皆さんと協議しながら進めていくということになります。やるべき時にどういう財源をとるか考えるということでございます。

## 板垣委員

だとすれば、このような財政上の有利な措置があるということをお今日は諮問されていますが、色々なメニューがあるわけですから、諮問する前の段階で説明して、その中でどれを選択するかという場面が欠けているのではないかという発言をしているのですが、そういうことではありませんか。地域協議会はどういう協議をすればいいですか。追認をすればいいのですか。

## 久保田総合政策部長

花巻市地域自治区設置条例の第8条の第2項の中で、地域協議会に諮問し意見を聴かなければならない事項として、4つ項目が挙げられております。委員の皆さまは既にご承知かと思いますが、新市建設計画に関する事項、基本構想及び総合計画に関する事項、各種地域計画に関する事項、その他市長が必要と認める事項ということで、今回の辺地総合整備計画の中で大瀬川地区は石鳥谷地域内の計画として今回地域協議会に諮問させていただいたところでございます。その中で、様々な意見が当然あるかと思しますので、それについては市といたしましても地域協議会の意見として捉えさせていただきたいと思っております。

## 似内会長

この辺地総合整備計画に載せる事業については、石鳥谷地域から要望を聴かなければならないということではないですよ。まちづくり総合計画などの大きい計画に入っている消防施設整備や道路整備などの事業について、その財源を振り分けた時に辺地総合整備計画を作ったときには意見を聴くということですね。皆さんから、道路や消防施設の整備や、消防ポンプ車がほしいというような要望はいつ出されてもいいのですが、辺地総合整備計画というメニューに組み入れる場合は地域協議会から意見を聞かなければならないという決まりがあるということですね。

## 久保田総合政策部長

これにつきましては、板垣委員からテクニカルという話もございましたが、辺地債という有利な起債を使って事業を実施するために、まさしく財政上のテクニカルな部分と捉えられても仕方ないことですが、行政としてはこの方法で事業を行いたいという内容でございま

す。

#### 似内会長

決まりがあるということでございます。よろしいですか。

#### 板垣委員

分かりました。

#### 佐藤委員

辺地ということも辺地債があるということも分かりました。資料の6番に辺地対策事業一覧がありますが、地域の要望などは事業としてはあるけれども、この一覧表については花巻市が計画しているということですね。鉛についても、計画策定年度が平成28年度、計画変更が平成29年度、そして事業実施が平成30年度というように段階を経てやっておりますが、まず一つは、この事業については花巻市が計画しているということですね。それからこの辺地債、過疎債とか合併特例債とかもありますけれども、それは国、県が決めるわけですから、花巻市が計画しても該当しない場合もあり得るが、市の財政的に可能であれば事業としては進めるということですね。この辺地債というのは花巻市が計画したから100%県や国が認めるということではないですね。それぞれの地域の人の意見も必要ですけれども、花巻市まちづくり総合計画という全体の計画の中で、この一覧表が出てきているというふうに理解しております。

#### 久保田総合政策部長

おっしゃるとおりです。総合計画の中で、今後5年10年というスパンで具体的に計画されております。実際に予算を編成していく中で、予定した年度にそれができるかどうかというのは財源を見たうえでのことになりますので、予定どおりいかない場合もございます。そういったことも踏まえた中で、花巻市としては辺地債を十分に活用して財源として活かしたいのですが、先ほど佐藤委員がおっしゃったとおり、それは花巻市の都合であって、県・国のほうで良しとするかどうかは、その年度になって事業申請したとしても認められない場合もあります。ただしその場合、財源を振り替えてでも実施できる目途が立つかどうかは、補正予算が必要な場合もありますし、その時の判断が必要となることになります。今は、平成30年度以降、このような計画で大瀬川は進めさせていただきたいという内容のものでございます。

#### 佐藤委員

消防施設整備の内容が多いものですから、辺地債というのは消防施設のためのものかと思いましたが、そうではないということですね。先ほど辺地債は何に使えるかという説明がありました。公共施設の整備ということで、たまたま消防施設の整備が多いということと、今回の計画が石鳥谷地域に該当するので、石鳥谷地域協議会に諮問したということですね。

## 似内会長

辺地という条件があって、今回大瀬川が該当するというところで、いろんな事業がある中で、今回この内容を辺地債を使って実施しようということだと思しますので、ご理解いただければと思います。

他にご意見やご質問ございますか。

よろしいですか。では、説明が終わりましたので、ここで久保田部長さんはじめ説明をいただいた秘書政策課は退席いたしますので、暫時休憩といたします。

## 5 審 議

### 似内会長

それでは会議を再開します。審議に入ります。

ただ今説明いただきました「大瀬川辺地における辺地総合整備計画」について、答申するにあたりまして、ご意見等がありましたならばお伺いしたいと思いますが、どなたかございますか。

### 高橋委員

原案のとおりで良いと思います。

### 似内会長

今、原案のとおりで良いというご発言がありましたが、そのとおりでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

### 似内会長

全員異議なしとのことですので、大瀬川辺地における辺地総合整備計画についての原案につきましては、賛成することで決定いたしました。市に答申しなければなりません、答申文につきましては、会長である私に一任させていただきますでしょうか。

(はい、の声あり)

### 似内会長

それでは答申文につきましては、後日各委員さん方に写しを送付させていただきたいと思っております。

## 6 報 告

### 似内会長

次に、次第6の報告に入ります。

「平成29年度石鳥谷のゆめ・みらいを語るワークショップについて」、担当よりご説明をお願いいたします。

### 資料に基づき説明（説明者：八重樫地域支援監）

### 似内会長

報告が終わりました。質問等ございましたらお願いします。

### 藤澤委員

私も花巻農業高校のワークショップに参加しましたので、内容は分かっておりますが、この取り扱いについてお伺いしたいと思いますが、支所として地域住民に対して、こういうことを開催しました、こういう意見が出されましたというようなPRをしましたか。無ければぜひやっていただきたい。というのは、花巻市全体で率先してこういうことをやったほうがいいと思ひまして、市長さんへのはがきで意見を述べましたが、これは非常に素晴らしい石鳥谷総合支所の取り組みだと思ひます。こういう雰囲気石鳥谷地域全体で盛り上げていく働きを支所がやってほしいと思ひます。

### 藤原地域振興課長

今のご意見のとおりだと思ひます。特にグラフィックレコーディングについて、ワークショップの内容が可視化できるということで、高校からどこかで展示していただけないかという話もございましたので、支所であったり図書館などにグラフィックレコーディングしたものを掲示しつつ、出された意見等も紹介できればなというふうに考えております。

### 藤澤委員

膨大な資料ですので、図書館のようなオープンスペースでないともだめだと思ひますが、高齢者はなかなか足を運ばないと思ひますので、各家庭に配布するチラシの中に入れてもらえればいいのではないかと思ひます。ただチラシに何をどう集約するかということになりますが、ぜひ各戸配布のチラシを出してもらえれば大変良いと思ひます。要望します。

### 藤原地域振興課長

検討させていただきたいと思ひます。

### 似内会長

純粋な若い人たちが我が町をどう考えているのかということで、本当に良い機会を作ったなと思います。我々の場合は、他への影響などを考えて遠慮しながら話をしてしまうものですが、こういう若い人たちが石鳥谷をどう見ているかということを実際に大切にしなければならぬと思います。それによって、若い人たちが考えていることを政策に取り入れていくということが、これからは大切になってくるのではないかと思います。せっかく高校のときにこういう話をしたけれども、さっぱりその後どうなったのか分からないと思われぬように、私どもも責任があるわけですが、意見を取り入れていけるような雰囲気、あるいは藤澤委員さんがおっしゃったような、高校生たちはこういうことを考えているとPRできる場を作ることも必要だと思えます。

他にございますか。

#### 高橋委員

資料5ページの「石鳥谷が～ならいいなと思うこと」の欄に、「4号線の横断歩道の信号が理不尽」とありますが、これはどういう意味ですか。もし、通学路の事で対策する必要があるならば、事故があっては困るのですぐに対応したほうが良いのではないかと感じました。

#### 八重樫地域支援監

4号線の横断歩道の信号についての細かい内容については、こちらでは把握していないので、実際に班で参加した人の中からお話を伺って、早急に対応が必要な状況であれば担当に繋いでいきたいと思えます。

#### 高橋委員

そこは聞いてあげてください。

#### 似内会長

せっかく意見を述べたのに対応していなかったとなると、若い人たちの気持ちを汲んであげていないということになると思えますので、よろしくお願ひします。

#### 八重樫委員

多分ですが、高校生は駅に行ったりするため急いで横断したいのではないかと思います。やっぱり交通量が多いので信号の待ち時間が長いということをお願いしたいのだと思えます。自分も実感しております。

#### 藤原地域振興課長

私の記憶では4号沿いのラーメン屋さんがあるところの信号がボタン式信号になっていて、その横断歩道は高校生がよく歩くので、青信号の時間が短くすぐ変わってしまうということではないかと受け止めておりますが、確認はさせていただきます。

## 似内会長

いずれ対応したほうが良いと思います。せっかくそういう意見が出ているのですから、子供たちの話は聞いてあげて対応することが大切だと思います。

その他ございますか。

## 藤澤委員

今年は、地域の個性を見つけてそれを発揮するいいタイミングではないかと思います。支所が支えながら。前回の会議で、会長さんのお話の中に石鳥谷地域が一つにまとまって取り組むような事業があってもいいのではないかと感じておりますというようなことをおっしゃっていて、市長さんの公約にも、新聞によりますと、地域の個性や特色ある文化を尊重したまちづくりに努めますと書いておりました、この二つを捉えて、石鳥谷地域が率先して他の地域に負けないように支所が動いていただきたい。そのきっかけとして高校生のワークショップとか好地地区でもワークショップを行っておりますし、今度は大瀬川でもやるようですから、支所に一肌脱いでいただきたい年だと思います。

## 菅原総合支所長

石鳥谷地域もイベントやいろんな特色があると思いますので、良さを生かした地域に根ざした取り組みをしていこうと思っております。コミュニティ会議さんや関係団体に色々なお話をききながら、できるものがあれば進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いたします。

## 鎌田委員

この内容を見て高校生は大変しっかりしていて、自分が高校生の時にこういうことを思ったのだろうかと思いました。資料を見ると、石鳥谷地域ではないお子さんも答えているようで、すごく良い取り組みだと思います。このような要望とかを支所や上の機関に話してほしいとかよく言われるのですが、それも一つの方法ですが、ここにはコミュニティ会議の方や各団体の方がいらっしゃるので、今の若い人たちはこういうことを考えているということをも自分の地域に帰って話をして、では自分たちは何ができるのかということが一番先に考えなければ、上から指示されるのではなく、出された意見をもとにそれを発展できるように、支所もそうですが私たちもそういう方向の一つ一つ持って行かないとだめなのかなと思いました。子ども達はこういうことを考えているのだということ、地区の人たちに話していかないと進んで行かないのかなと思います。

## 菅原総合支所長

今回、将来を担う高校生に将来の夢などを語っていただきました。すぐに実現できるもの、そうでないものもあると思いますが、その中から支所として取り組めることはやっていきますし、あるいはコミュニティの皆さんや地域でも、地域課題を解決するため色々な事業をやっておりますけれども、そういった際に参考となるご意見もあると思いますので、コミュニティの皆さんにも情報を流しながら取り組んでいただければより良いものになるのかな



と思っておりますのでよろしくお願いいたします。

#### 似内会長

よろしくお願いいたします。

#### 熊谷委員

花北青雲高校の生徒さんからは、街路灯についての意見がだいぶ出ているなど気になっておりますが、街路灯はコミュニティで対応できることになっておりますけれども、実は花北青雲高校は、好地・大瀬川・八日市地区の3つのコミュニティ地区がちょうど合流しているところでありまして、もし本当に暗いところがあるのならば対応してあげたほうが良いと思いますが、我々大人が見る部分と、子ども達が感じている部分が同じとは限らないですし、当然お金が絡んできますので、どのあたりか分かる範囲で教えていただければと思います。

#### 岩館委員

好地地区のコミュニティでは、花北青雲高校から駅に向かう所が暗いということで、現地調査をして動いております。

#### 似内会長

その他ございますか。

いずれこれらの意見は大切にしたいと思います。我々大人たちとは違う子供たちの意見ですから、ぜひ取り入れてほしいと思います。

ご意見がなければ締めさせていただきますもよろしいでしょうか。

(はい、の声あり)

それでは、次第6の報告を終了します。

## 7 その他

#### 似内会長

次にその他ですが、事務局からありますか。

#### 藤原地域振興課長

ございません。

#### 似内会長

委員の皆様からありますか。

(発言なし)

似内会長

無ければ、事務局に進行をお返します。

8 閉 会

藤原地域振興課長

長時間にわたり大変お疲れさまでした。以上をもちまして、平成 29 年度花巻市石鳥谷地域協議会第 3 回会議を終了いたします。ありがとうございました。